



プロバスだより

第312号

2021年11月11日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月18日

2021～2022年度 テーマ

プロバスライフを「元気に楽しもう」

第312回例会

日時 令和3年10月14日(木) 12:00～14:30

場所 八王子エルシィ

出席者 41名 出席率 80%

(会員総数 52名、欠席10名、休会1名)

1. 開会

井上例会副委員長

第312回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

2. 会長挨拶

河合会長



新年度に入り7月例会以来3カ月ぶりの例会開催です。

昨年来のコロナ禍もようやく沈静化の傾向を見せ、日常を取り戻せる期待が高まっております。プロバスの活動もこうした状況を見ながら、会員の健康を最優先に取り組んでゆきたいと考えます。

久しぶりの本日の例会は例会委員会のご尽力で、楽しい企画も予定されているようですので、期待をして最後まで楽しんで頂きたいと思います。

また、本日の例会には全日本プロバス協議会の古賀会長、松本幹事長のお二人が、はるばる北九州からお越しただいております。来年11月に八王子市で開催予定の全日本プロバス協議会第10回総会の打ち合わせのためと伺っております。

さらに、本日の卓話は八王子青年会議所の青木理事長から「青年会議所の組織と活動」についてお話を頂きます。

本日の例会が楽しく充実したものでありますよう期待しつつ挨拶とします。

3. 来賓紹介

ご来賓の方々をご紹介します。

全日本プロバス協議会会長 古賀靖子様、同じく全日本プロバス協議会幹事長松本 忠様のお二方です。

4. 来賓挨拶

全日本プロバス協議会会長 古賀 靖子 様

私の八王子訪問は2回目です。今回は八王子プロバスクラブの創立20周年記念行事に参加しました。

2度目の今回は、来年11月に八王子市で開催予定の全日本プロバス協議会第10回総会について、正式なお願いと打ち合わせに伺ったところで



全日本プロバス協議会は2年に1回懇親の目的で総会を開催しております。平成30年には三重県で開催し、2年後に第9回の総会を青森県で開催予定でしたが、コロナ禍により開催できませんでした。

この結果、4年間交流の機会を逃してきたわけで、八王子総会に大きな期待をかけております。どうぞよろしくお願い致します。

最後に、昨年創立25周年という輝かしい歴史を刻まれた八王子プロバスクラブの今後益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念しまして挨拶とします。

5. ハッピーコイン披露

池田副会長からハッピーコイン23件の披露がありました。(5・6ページに掲載)



6. 卒寿の祝

立川富美代会員が卒寿を迎えられましたので、プロバスクラブからお祝い金が贈呈されました。

7. パースデーカード贈呈

10月生れの会員に池田会員手作りのパースデーカードが贈られた。



左から 丸山 恭、山口三郎、大野幸二、矢島一雄、土井俊玄、立川富美代、岡本宝蔵各会員と河合会長

8. ラッキーチャンス

土井俊玄会員、寺山政秀会員、深谷正徳会員がチャンスを射止めました。



記念品を受け取る寺山会員

9. 卓話(要旨)

八王子青年会議所理事長

青木 耕平氏

八王子青年会議所の理事長を勤めております青木耕平です。本日はお招き頂き有難うございました。

青年会議所は、20歳から40歳までの志の高い青年経済人によって『奉仕』『修練』『友情』という三信条のもと、『明るい豊かな社会』の実現を目指す青年団体、それが青年会議所です。

青年会議所は、戦後の混沌とした時代背景の中、責任感と情熱を持った青年有志たちにより日本で初めての青年会議所として、東京青年商工会議所が設立されました。その後、次々と各地に青年会議所が誕生。1951年には全国各地で活動していた青年会議所が集まり、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(JCI日本)が設けられました。

八王子青年会議所は1966年創立。現在メンバー数61名、20歳～40歳の青年経済人で構成されており、八王子市内に拠点をおいています。今年創立55周年を迎えました。

八王子青年会議所のスローガンは、“明るい豊かな八王子を築き上げる！！”です。



八王子青年会議所が地元に対して、どのような活動をしているかをいくつか紹介します。

1. 小学生の郷土愛を育む事業として、「八王子こども屋台選手権」があります。第1回は2018年南大沢で開催し、毎年続けております。地元の食材を使用し、メニューを考え調理し、一般の方々に食して頂く活動です。なお、この活動についてはテレビ映像化に向けて現在編集作業を進めております。

2. 伝統文化の新たな形による発信として「伝統文化発信フェスタ」を開催しました。この活動は若者文化と伝統文化のコラボとして、映像配信する予定です。

3. 青年会議所は世界中にあることから、日韓高校生によるスポーツ交流を実施しております。八王子高校のバスケットボール部員と私共の会員も同行し、交流を深めました。民間交流を果たせたかなと感じております。この活動は2018年度東京ブロック協議会の最優秀事業に選ばれました。

3. 国内・海外JCとの友好関係構築として今年台湾の高都青年会議所と姉妹締結を結びました。台湾の青年会議所が行っているミラー清掃の事業を八王子でも同様に行ない、交通安全の意識を高める目的を果たせたかなと感じております。

終りに、私どもは単年度制であり、今年の12月31日で、私も含め40歳以上の会員は交替となります。新しい世代への交替により、更に活性化されていくと思います。今回このような機会を戴きお礼を申し上げます。

このご縁を機会に、今後の事業に絡めていければよいと考えており、いろいろな世代との交流も果たせると思います。

八王子プロバスクラブの皆様方ありがとうございました。

10. 幹事報告

山口幹事

1. 7月の例会以来3ヶ月振りの例会となりました。コロナ禍の影響で食事を伴うエルシィでの例会は昨年10月以来ですから実に1年振りとなります。感染者の数も随分減りました。是非このまま推移してゆくと共に、未だ学校スタイルでの座席ですが、早く従来の丸テーブルに戻り和気あいあいとした例会に戻ることを願います。

本日は、全日本プロバス協議会の古賀会長と松本幹

事長に例会参加して頂いています。大歓迎したいと思います。

2. 八王子青年会議所、青木理事長より「青年会議所の組織と活動」についての卓話を拝聴いたしました。



その活動について具体的に話をして頂き良く理解出来たところです。若い力と、将に成熟した老人パワーをどのように融合させて行くことが必要であるか等考えさせられました。大変参考になりました。有難うございました。

3. 「委員会の再編について」報告

八王子プロバスクラブは創立 25 周年を経過し、会員の高齢化・会員数の減少等により、事業の実施に当たる 5 つの委員会構成が十分に行えない状況になっている。こうした状況を踏まえ新年度に入り、この懸案事項に対する取り組みが検討され理事会内に「委員会再編検討小委員会」を置き集中審議することとなった。

アンケート調査結果を参考に検討を行い、以下の結論を得た。

1) 委員会の再編成について

現行の 5 委員会を再編成して 4 委員会とする。具体的には研修委員会と会員委員会を統合し「会員・研修委員会」とする。両委員会はいずれも会員の管理・研修に関する共通性のある事業であり、一本化することによって、より効率的な運用が図られるものと判断した。

従って、運営細則第 1 条に規定する委員会は、例会委員会、情報委員会、会員・研修委員会、地域奉仕委員会の 4 委員会となる。

2) 役員の任期について

役員の任期は会則第 10 条に「1 年」と規定されている。この規定を「役員の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。」と変更する。

これによって、今後のプロバスクラブの効率的な事業の執行や人員体制の弾力的な運用を可能にしておくこととした。

なお、前年度と同じ体制で引き継がれた今年度の委員会活動等については、全員から「活動しやすい」「効率的」等の回答を得て、複数年制の利点をはっきりした。

3) 現在も必要に応じて実施されているが、事業等の

実施に当り、委員会相互の応援体制をより活発に、柔軟に行うことを確認した。

今後、規定の変更等も必要であることから、実施に向けての準備を進めることとする。

1 1. 各委員会からの報告

1) 例会委員会

齊藤委員長

今回から、会長の配慮により抽選で賞品がいただけるラッキーチャンスの機会を設けました。

2) 情報委員会

内山委員長

皆様方からの寄稿文が必要です。ご協力をお願いいたします。ホームページへのアクセス件数は 9 月の実績として 423 件ありました。

3) 研修委員会

飯田富美代

2021 特別例会は昨年同様日本閣で開催しますが 38 名の会員が参加の予定です。昨年は「聞く」をテーマとしましたが、今年は「参加する」「聞く」「観る」をテーマとし、展示会へは 37 名の出展があります。ご講演は八王子市の学芸員赤間亜樹様に「桑都物語」のお話を、加えて伝統文化八王子芸妓様には「歌と踊り」をご披露いただきます。

4) 地域奉仕委員会

馬場委員長

生涯学習サロンの日程とカリキュラムが確定しましたので紹介させていただきます。配布資料をご覧ください。開講日及び閉講日の特別講演を含めてすべての講師・話し手の皆様の了解が得られた最終版です。講師・話し手の内訳は、会員 3 名外部の方 5 名となっています。なお、今期から“小中学校音楽祭（略称）”の継続導入に備えて、全体カリキュラムを 14 項目から 8 項目に減少したことを踏まえ、サロン受講料を当クラブ会員及びサロン会員の何れも従来比 1,000 円低減することにしました。

今後の課題は、会場の安全性を如何に確保するかだと考えています。

5) 交流担当

一瀬理事

来年の八王子での総会「東京八王子 2022」については別項にて報告いたします。本日の例会には全日本プロバス協議会の古賀会長、松本幹事長が見えられてい

ますが、昨日、来年度の会場（京王プラザ）も見えていただき、またいくつかの懸案事項についての打ち合わせを行いました。緊急事態宣言も解除となり、近隣の多摩・日野・埼玉浮き城の3プロバスクラブも例会を再開したようですので近々お邪魔し、来年度の総会のコ・ホスト就任につき直接お願いに参上する予定にしております。加えて、多摩・日野両クラブに対して10月17日の市民音楽祭に当クラブのシニアダンディーズが出演する旨ご案内し、会員への周知を依頼いたしました。

6) 小・中学校音楽祭 杉山PJリーダー

八王子プロバスクラブ創立25周年記念事業として「時代を育てる はばたけ未来！音楽祭」を予定しておりましたが、コロナ禍のため開催できず、「小・中学校音楽活動優秀校にエールを送る会」と変更して実施しました。当初計画していた音楽祭の演奏が積み残しとなっておりましたので、それを来年3月20日いちようホール大ホールにて開催するものです。

諸般の打合せは既に終えておりますが、当日の受付・会場整理など会員の皆さん方のご協力をお願いします。

7) 「東京八王子2022」について 一瀬実行委員長

- ① テーマの取り扱いですが全国共通テーマに関して今回はこれにこだわらず、従来通り八王子独自のテーマ“山と平野のふれあうまち東京八王子「交流と学び合い」のプロビアン集い”でいくこととします。
- ② 交流会で東京八王子に加えてプレゼンをお願いする2プロバスクラブについて、候補は煮詰まってきましたが、最終的には来月の実行委員会で決定いたします。
- ③ 参加者へのお土産に関して、従来のシニアダンディーズCDに加えて、お客様向けに池田会員手作りの色紙を作成いただけることになりました。会員作成のお土産としてユニークなものになりそうです。
- ④ 翌日の高尾山エクスカッションは11月に現地の実踏を予定しています。アクセスや雨天対策など課題がまだ多く残っております。
- ⑤ ただいま例会会場で回覧しておりますが、全日本プロバス協議会ニュース10月号にPRを兼ねて「東

京八王子2022」の記事を載せていただきました。

8) シニアダンディーズの活動報告

シニアダンディーズの輝いた日 立川富美代

昨年の秋に、八王子文化連盟の宮崎会長より依頼を受けました。2021年の八王子文化祭の「音楽芸術フェスティバル」にシニアダンディーズの出演依頼です。二つ返事で受けるとは言えませんでした。それはコロナ禍で殆ど練習の出来ない日々だったからです。聞けば会場はJCOMホール。2,000人も入る会場です。そして、本格的な演奏会です。八王子プロバスクラブの看板も背負います。練習不足でまともに歌えない様な形で出演は出来ませんので、指導者やメンバーと相談して結果は「頑張っって出演しよう」でした。

2021年の年が明けて増々コロナは酷くなり、CD作成の予定も無期延期となり、練習も合計で8ヵ月もお休みになりました。練習会場であった土井会員の研修室も密になると、大横保健福祉センターに練習会場を移し、7月になってやっと毎週の練習が出来るようになりました。暑い夏の日もお盆もお彼岸も関係なく練習に励みました。本番2週間前位になり、やっとステージに立てるまでの精度になりました。熱意溢れた指導陣、メンバーの努力。これで本番が上手く行かない訳がありません。

10月17日JCOMホールに午前中からリハーサルが始まり、午後2時開演です。スタイルもぼつちり決まってステージに並びました。杉山会員の元気なコールで演奏が始まりました。

“汽車ポッポ” “いのちの歌” “大地讃頌”

何回も何回も練習した曲です。平均年齢84才が「いのちを輝かせて」元気に歌い切りました。メンバーのみなさんがとても輝いて見えました。カーテンコールも初めての体験でした。



クラブのメンバーやご家族、大勢応援に駆けつけて下さいました。後で聞きましたら日野プロバス、多摩プロバスからもお越しくくださったそうでした。本当に

感謝です。

今後の演奏予定も次々とあり、出演翌日から次の演奏会に向けて練習は始まりました。今の希望は、良い演奏は勿論ですが、全員が元気に歌い続けることです。でも歌っていますと元気になれるのです。歌うことは楽しいです。頑張りましょう。

9) いちよう祭りボランティア参加 岡本 宝蔵

本年度も11月20日(土)・21日(日)の2日間に亘り「第42回いちよう祭り」が開催されます。

祭典員会より受付・案内業務を担当する役員の派遣方の要請が来ております。当クラブでも毎年協力して来ておりますので、本年もご協力をお願いいたします。

12. プロバス賛歌

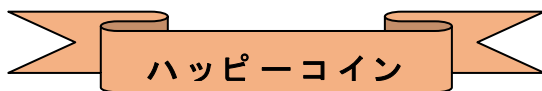
起立・黙唱



13. 閉会挨拶

久しぶりの例会で、お伝えしたいこと、お聞きしたいことがたくさんあって充実した例会になりました。また全日本プロバス協議会の古賀会長、松本幹事長にはお忙しい中、そしてお疲れのところを最後までお付き合いくださいましてありがとうございました。来月は日本閣での特別例会です。また元気で一緒にしましょう。

池田副会長



◆11月の特別例会には会員皆様の趣味の作品やお宝の披露など、会場の一角で展示を予定しております。出品追加も受け付けます。どうぞご期待下さい。

根本 照代

◆いつも、いちよう祭りは皆々様のご支援ご協力有り

難うございます。今年も42回目いちよう祭りを11月20日、11月21日に縮小して開催します。また、日本遺産認定事業推進を昨年に引き続き10月20日から11月31日迄開催し、11月3日、10日、17日、24日の4日間行ないますので、案内係、景品渡し等お手伝い賜わりますようご協力をお願いします。どうぞよろしく。

岡本 宝蔵

◆10月11日に行なわれたプロ野球のドラフト会議で都内の高校生が2名指名を受けた。その一人、八王子学園の羽田慎之介投手が西武球団から4位指名を受けたのです。八王子市内の高校でも、八王子学園でも初めてのことで。身長192cmの長身から投げ下ろす直球がプロ野球に通じるか。これからが楽しみです。皆さん応援をよろしく。

塚本 吉紀

◆今月16日、17日に東京辰巳国際水泳場で開かれる短水路(25m)の日本選手権に今年8月の全国高校総体(インターハイ)で競技女子400m自由形で高校日本一となった八王子高校の岡村梨香さんが出場します。彼女は八王子学園の多摩なかよし幼稚園ではじめて水泳を始めた八王子生れ、八王子育ちの選手です。

塚本 吉紀

◆市の定期健康診断で大腸の内視鏡検査を受けました。「大丈夫、きれいですよ」と言われほっとしました。

有泉 裕子

◆立川さん卒寿おめでとうでございます。私もあやかりたいです。

有泉 裕子

◆久しぶりに皆さんにお会い出来てうれしいです。

野口 浩平

◆久方振りに再会できてうれしいです。このままコロナウイルスの終息を期待したいです。

内山 雅之

◆久しぶりの例会、皆様の元気な様子を見て大変うれしいです。

高取 和郎

◆コロナ禍を機会に断捨離を断行し、アルバムや倉庫の整理、自叙伝の完成などを行ないました。一方、コロナ肥りと筋肉低下が気になり、早くジムで水泳を再開したいと思っています。

岩島 寛

◆3ヶ月振りの例会です。何故か懐かしい同窓会で会うような喜びです。皆さんと元気に再会できてHappy

持田 律三

◆今月74歳となります。まだ十分若手です。

山口 三郎

◆全日本プロバス協議会古賀会長並びに松本幹事長

俳句同好会便り

の例会ご出席有難うございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

山口 三郎

◆2ヶ月ぶりの例会の開催。顔を見ながら、声を聞きながらの交流。楽しいひとときを過しましょう。

河合 和郎

◆久しぶりにエルシィでの例会。皆さんの顔に会えてほっとします。本日は八王子青年会議所の青木さんの卓話ありがとうございます。

飯田富美子

◆11月11日の特別例会には多くの方のご参加を得て出品展が出来るのを楽しみにしています。ご協力、ご支援、ご参加よろしくお願ひいたします。

飯田富美子

◆本日の卓話講師として、若い世代との相互理解を目的に八王子青年会議所の青木理事長をお迎えしました。どうぞ、ご期待下さい。

杉山 友一

◆全日本プロバス協議会古賀会長様、松本幹事長様を歓迎して！！

杉山 友一

◆久しぶりにエルシィに戻っての例会、又、本日は全日本プロバス協議会から古賀会長、松本幹事長をお迎えしての例会となり感謝です。

田中 信昭

◆はじめての膝関節置換え術を受け、今日で1ヶ月と1週間が過ぎ、杖をたよりに例会に出席できたことが大変うれしい思いです。自分が経験してみないとわからないことなど、日頃の健康で過ごせる幸をかみしめています。

土屋三千代

◆来春開催の「小中学校音楽祭」に向けてサポート出演の八王子学園を含めて4校を訪問してきました。どこもコロナに負けず活動を続けていて大変心強くハッピーでありました。

一瀬 明

◆全日本プロバス協議会の古賀会長、松本幹事長、遠路お越しいただき誠に有難うございます。来年開催の当クラブホストの総会・大会に向けてなお一層のご指導よろしくお願ひいたします。

一瀬 明

◆5日前にいよいよ90台に突入しました。90年間大病もせずに元気に過して来られました。健康な体に産んでくれた両親に感謝すると共に、これから残された人生を健康に過ごせますように神様をお願いしております。この数日は後3日に迫ったシニアダンディーズのステージがうまく行きます様に、そればかりで頭が一杯です。皆様どうぞ応援宜しくお願ひいたします。

立川富美代

私の一句〈十月の句会から〉

河合 和郎

三か月ぶりに全員集合の句会が開催出来た。句会は何となく高揚感に包まれていた。例月よりゆっくり、じっくりのペースで句会の楽しさを堪能した。

木喰の微笑み誘ふ秋の風

飯田富美子

微笑仏(みしょう仏)に接して心和む心情を一句に。木喰上人は笑顔の仏像を全国に残した。

紫式部淑やかならぬ実沢山

馬場 征彦

紫式部が実を沢山付けている。作者は女人の紫式部を連想して、子沢山は相応しくないと……。

イナゴ飛ぶ右へ左へ草むらへ

野口 浩平

昔の田圃の畦道はこんな状態。蝗は害虫だが、最近は見かけなくなった。これもまた淋しい事。

戦時下や運動場は芋畑

東山 榮

作者は卒寿の人。あの昭和の戦禍は忘れることが出来ない。戦後生まれの人には想像を超えた世界。

秋刀魚焼く匂ひ流れて路地の奥

矢島 一雄

下町の夕餉支度の光景。しかし、最近是不漁で秋刀魚も庶民の味ではなくなってきている。

児の笑ふまるき手足に秋抱ひて

池田ときえ

笑の兼題句。母親の視点から赤子のまるまるとした手足が秋を抱いているようだ。佳句。

竹の春人力車夫のふくらはぎ

田中 信昭

竹の春とは秋の竹林の青葉の様子を指す。京都嵯峨野の竹林は有名。車夫の足の句にはびっくり。

さようなら蝸の声細くなり

下山 邦夫

季節の移ろいにさよならを。去りゆくもの過ぎ行くものに哀れさを感じるのは俳句心そのもの。

落日の炎となりて薄原

河合 和郎

ススキ原は陽の光によって様々に変化する。夕陽の赤光は芒原を燃え上がるように染め上げる。

編集後記

久々の例会でお顔を会わせての楽しい集いの様子を、編集作業することで、欠席の私も、味わうことができました。感謝 佐々木秀勝

